

修士論文（要旨）
2015年7月

台湾における外国人ホームヘルパー雇用の過程
—家族介護者への面接調査をもとに—

指導 白澤 政和 教授

老年学研究科
老年学専攻
213J6003
陳 佳珍

Master's Thesis (Abstract)
July 2015

The Process of Employment for Migrant Care Workers in Taiwan
Based on Interviews with Family Caregivers

Chiajen Chen
213J6003

Master's Program in Gerontology
Graduate School of Gerontology
J.F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Masakazu Sirasawa

目次

I はじめに.....	1
1.研究背景.....	1
2.問題点	1
3.研究目的と意義.....	1
II 研究方法.....	1
4.調査対象.....	1
5.調査方法.....	1
6.分析方法.....	2
7.倫理的配慮.....	2
III 結果と考察.....	2

引用文献

I. はじめに

1. 研究背景

台湾では長年、高齢者の世話は家で家族がするという考えが主流であった。しかし、少子高齢化や夫婦共働きの増加など、家族形態の変化もあり、家族だけでは高齢者の介護ができなくなった。現在、高齢者介護を担う人手が不足しているという問題もある。

しかし、3K（3D）の影響で、介護産業に就職を望む台湾人は多くない。現実に台湾では「照顧服務員（ヘルパー）」の資格を持っている人が介護の仕事を選ばないという現実もある。1989年に外国人労働者の受け入れをはじめた政府は、介護人手不足解消のため、1992年から外国人ホームヘルパーの受け入れを始めた。現在、ホームヘルパーの9割以上がインドネシア、フィリピン、ベトナムからの外国人で占められている。

2. 問題点

台湾における外国人ホームヘルパーの言語力、介護技術などがまだ不十分な状況のなか、ヘルパーを雇用している者の満足感や評価はどうか不明なことが多い。また、外国人ホームヘルパーは日常生活の会話ができたとしても、緊急時に要介護高齢者に応急処置を施すことができるかどうか課題がある。

3. 研究目的と意義

本研究では、台北市における外国人ホームヘルパーの介護業務の実態を把握し、外国人ホームヘルパーの介護業務の困難点を雇用者の視点から明らかにすることを目的とした。

外国人ホームヘルパーにとって介護業務のどんな点が困難かを理解できれば、制度面での改善や雇用者側で工夫をもって、要介護高齢者のQOLの向上に寄与することができる。

また、コミュニケーションや介護技術でこれまでのヘルパーに雇用者が苦勞した点が整理できれば、それを外国人ホームヘルパーが学ぶことで、今後外国人ホームヘルパーに継承していくことができる。本研究は、こうした外国人ホームヘルパーに対するあり方に提言を試みようとするものである。

II. 研究方法

4. 調査対象

台北市で外国人ホームヘルパーの雇用経験がある要介護高齢者の家族介護者を対象とした。インドネシア籍の外国人ホームヘルパーの雇用経験がある人3人、ベトナム籍の外国人ホームヘルパーの雇用経験がある人3人、フィリピン籍の外国人ホームヘルパーの雇用経験がある人3人を対象とし、それぞれ各項目にしたがって、インタビュー調査を行った。

5. 調査方法

データ収集のため、外国人ホームヘルパーの高齢者介護評価について、外国人ホームヘルパーの雇用経験がある9人の雇用者に対してインタビュー調査を行った。インタビューガイドを作り、インタビューガイドに基づいた半構造化面接(semi-structured interview)を行った。調査対象者の抽出方法はスノーボールサンプリング (snowball sampling) で行った。

調査票の質問項目

- 1) 研究対象者および外国人ホームヘルパーについての個人データに関する項目
- 2) 外国人ホームヘルパーとのコミュニケーションでの困難さについてプロセス変化に関する項目
- 3) 外国人ホームヘルパー介護業務の困難点についてのプロセス変化
- 4) 文化の相違に基づく困難性についてのプロセス変化
- 5) 外国人ヘルパーのコミュニケーション、介護、文化に対する雇用者側の対応について

6. 分析方法

分析は修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ、M-GTA (Modified Grounded Theory Approach) を用いた。10)

7. 倫理的配慮

本研究は桜美林大学院研究倫理委員会の承認（承認番号 14030）を得たうえで、外国人ホームヘルパーを雇用している要介護者の家族介護者 9 名を対象とした。

Ⅲ. 結果と考察

分析の結果、台湾における外国人ホームヘルパー雇用の過程に関する 6 個のカテゴリーと 28 個の概念を生成した。概念とカテゴリーの関係について、ストーリーライン(結果図)を示して説明する(参照)。カテゴリーを【 】, 概念を< >、インタビューの叙述部分を『 』で示す。

カテゴリーとして【外国人ホームヘルパーを雇用する理由】【外国人ホームヘルパーを雇用する準備】【介護現場での雇用側が困ること】【問題解決への対応】【外国人ホームヘルパー側の変化】【雇用者側で良いと感じたこと】の 6 つ抽出された。

カテゴリー間の関係について【外国人ホームヘルパーを雇用する理由】は、要介護者の状態により<要介護者の心身の状況>、雇用者家族で介護できないことである<家族だけで介護できない>、雇用して要介護者を看しほしいという<安全で安心な介護ができる>という 3 つの概念により生成された。この結果、【外国人ホームヘルパーを雇用する理由】から<斡旋会社を介して訓練を受けた人を探す>と<経験が豊富なヘルパーがよい>、<台湾語のできる人に来てほしい>という【外国人ホームヘルパーを雇用する準備】へと繋がっていた。

また、来台後、外国人ヘルパーが実際工作中にあらわれた問題という【介護現場での雇用側が困ること】は言語面、介護面、文化面の 3 つが示された。言語面について、<コミュニケーションの困難>が<コミュニケーション方法の工夫>と<要介護者により話す言葉が異なること>に、<介護の技術が十分でない>が<繰り返して介護技術を修得させる>という【問題解決への対応】へとつながっていた。

【介護現場での雇用側が困ること】の介護面について、<監視が必要>、<介護の技術が十分でない>、<介護の仕事への熱意がないこと>が<見本を見せる>、<繰り返して介護技術を修得させる>、<定められた仕事の範囲に専念してもらう>に、<介護技術が上達する>という【外国人ホームヘルパー側の変化】へとつながっていた。

【介護現場での雇用側が困ること】の文化面について、＜仕事中に携帯電話等の私的なことをする＞、＜宗教的理由で豚肉を調理できない人がいる＞、＜食材を十分洗わない＞がくルールやマナーを説明する＞、＜要介護者や家族と一緒に住むことで理解し合う＞、＜雇用者側での気遣い＞に、＜台湾での生活に慣れる＞という【外国人ホームヘルパー側の変化】へとつながっていた。

そして【問題解決への対応】については【外国人ホームヘルパー側の変化】に結ばれた。

外国人ホームヘルパーとの介護仕事についての困難対策は【介護現場での雇用側が困ること】を発見し、【問題解決への対応】から、【外国人ホームヘルパー側の変化】までの問題を解決した。また、【介護現場での雇用側が困ること】の言語面について、この＜コミュニケーションの困難＞が＜コミュニケーション方法の工夫＞と＜要介護者により話す言葉が異なること＞に、＜毎日話せば、言語が上達する＞という【外国人ホームヘルパー側の変化】へとつながっていた。

最後、【雇用者側で良いと感じたこと】は【外国人ホームヘルパー側の変化】によって影響された。そして、＜生活の質が良くなった＞、＜安心して外出できる＞、＜雇用者の介護負担の解消＞、＜外国人とのコミュニケーションができることになる＞を感じた。

本研究は、外国人ホームヘルパーの雇用者に焦点をあて、台北市における外国人ホームヘルパーの介護業務の実態を把握し、外国人ホームヘルパーの介護業務の困難な点について、雇用者の視点から明らかにすることをした。台北市在住で外国人ホームヘルパーを雇用している人について分析を行ったが、要介護者の ADLS により分析内容が影響を受けていることを考慮しなければならない。今回は、本研究の対象者は9名に限られたこと、女性からの語りに偏っていたこと、都市で外国人ホームヘルパーを雇用している介護者9人を事例としたことから、雇用者全体として述べることはできない、また、対象者が要介護者の家族であることから、要介護者は雇用者の特性としてまた分からない。今後は、さらに台湾全体の要介護者と雇用者を対象として、研究を重ねる必要がある。サンプル数を増やすとともに、他の地域で検証することが必要である。また、良い雇用でなかった例についても検討が必要である。

引用文献

1. 王媽媽愛心服務照顧服務網 2014「收費說明」, <http://www.wangmama.com.tw/index.php?mode=pay> (参照日:2014年7月24日)
2. 汎亞優質外勞 2012「家庭看護工聘僱費用」, <http://www.hiworker.com.tw/Web/application01.aspx> (参照日:2014年7月24日)
3. 東南亞集團 2011「監護工流程費用」, <http://www.sea.com.tw/index.asp?id=9&xid=1> (参照日:2014年7月24日)
4. 勞動力發展署全球資訊網 2013「家庭看護工流程圖」, <http://www.wda.gov.tw/home.jsp?pageno=201310280121&acttype=view&dataserno=201312020003> (参照日:2014年9月9日)
5. 台湾労働部統計“外籍工作者—産業及社福外籍勞工人數”「按産業分」
<http://statdb.mol.gov.tw/statis/jspProxy.aspx?sys=100&kind=10&type=1&funid=q1301&rdm=iqpl6kbV> (参照日:2015年7月20日)
6. 台湾労働部統計“外籍工作者—産業及社福外籍勞工人數”「産業及社福外籍勞工人數—按行業及國籍分—行業標準分類第九次修訂(102年以後)」
<http://statdb.mol.gov.tw/statis/jspProxy.aspx?sys=100&kind=10&type=1&funid=q1301&rdm=iqpl6kbV> (参照日:2015年7月20日)
7. 台湾内政部統計処“内政統計月報“2015/6「1.5-戶籍登記現住人口數按三段、六歲年齡組分」
<http://sowf.moi.gov.tw/stat/month/list.htm#1> 戶政、2 民政 (参照日:2015年7月22日)
8. 台湾衛生福利部統計処 http://www.mohw.gov.tw/cht/DOS/Statistic.aspx?f_list_no=312 (参照日:2012年7月30日) *台湾の行政院衛生署は2013年7月23日から、「内政部衛生福利部」に変更した。
9. 台湾内政部統計処“調査報告分析“2010「2009年老人狀況調查摘要分析」
<http://sowf.moi.gov.tw/stat/Survey/list.html> (参照日:2013年5月20日) 衛生福利統計 2009「98老人狀況調查」p4
10. 台湾内政部統計処“内政統計通報“「102年第11週(101年底我國老人長期照顧及安養機構概況)」
<http://sowf.moi.gov.tw/stat/week/list.htm> (参照日:2014年2月2日)
11. 台湾行政院勞工委員會職業訓練局“102年外籍勞工管理及運用調查“2013/12「102年外勞調查--03家庭看護工統計表」
http://www.evta.gov.tw/content/list.asp?mfunc_id=14&func_id=61 (参照日:2014年2月2日) *台湾の行政院勞工委員會職業訓練局は2014年2月17日から、「労働部労働力發展署」に変更した。
12. 台湾労働部統計“臺北市地區別查詢類別“「臺北市産業及社福外籍勞工人數—按産業分」
<http://statdb.mol.gov.tw/statis/jspProxy.aspx?sys=100&kind=10&type=1&funid=citylist&parm1=code1=1200%20codnm1=%E8%87%BA%E5%8%97%E5%B8%82%20code2=42&rdm=kkooabei> (参照日:2015年7月20日)
13. 台湾労働部統計“臺北市地區別查詢類別“「臺北市産業及社福外籍勞工人數—按國籍分」
<http://statdb.mol.gov.tw/statis/jspProxy.aspx?sys=100&kind=10&type=1&funid=citylist&parm1=code1=1200%20codnm1=%E8%87%BA%E5%8%97%E5%B8%82%20code2=42&rdm=kkooabei> (参照日:2015年7月20日)
14. 台湾行政院勞工委員會職業訓練局 2011「外籍勞工滿意度調查」
<http://www.labor.gov.tw/> (参照日:2012年7月30日) *台湾の行政院勞工委員會職業訓練局は2014年2月17日から、「労働部労働力發展署」に変更した。
15. 湯棋玥 2011 關於外籍護士・看護工的語言教育政策之研究—以台日比較為中心 銘傳大學應用日語學系碩士論文
16. 張啟明 2012 外籍勞工生活適應與輔導之研究 銘傳大學公共事務學系碩士論文
17. 楊珊珊 2008 優秀外勞及雇主評選要項之研究-以臺北市為例 銘傳大學公共事務學系碩士論文
18. 康月綾 2010 外籍家庭看護工在台灣生活適應情形之研究-以印尼看護工為例 國立臺中教育大學社會科教育學系碩士論文
19. 木下康仁『ライブ講義 M-GTA: 実践的質的研究法』弘文堂、2007
20. 木下康仁『質的研究と記述の厚み: M-GTA・事例・エスノグラフィー』弘文堂、2009
21. 木下康仁『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践』弘文堂、2003
22. 台湾行政院『我國長期照顧十年計畫摘要本』臺北: 行政院、2008